

2024年7月21日 聖霊降臨後第九主日礼拝説教
「キリストがおられるなら」(エフェソ2章11～22節)

○エフェソ2章11～13節について

「あなたがたは以前には肉によれば異邦人であり、」(11節)

*異邦人：神の救いと選びから外れた〈すべて〉の人

わたしたちも、ひとりの「異邦人」として「この世の中で希望を持たず、神を知らずに生き」(12節)、尽きぬ悩みと心の虚しさを抱えながら、死に至るしかない命であった。

問：救われる前の〈あなた〉は、なにを求めていたのか？

☞この世で、どれほど多くのものを得ても、すべてを無きものとする〈死〉を乗り越えられる人は、だれもいない。

「しかしあなたがたは、以前は遠く離れていたが、今や、キリスト・イエスにおいて、キリストの血によって近い者となったのです。」(13節)

※救いの外にいた〈あなた〉を神に近づけるため、救い主イエスが十字架で血を流され、死からよみがえられた。

今日のみことば：エフェソ2章16節

「^{じゅうじか}十字架^{とお}を通して、^{りょうしゃ}両者^{ひと}を一つの^{からだ}体として^{かみ}神と^{わかい}和解させ、
^{じゅうじか}十字架^{てきい}によって^{ほろ}敵意を滅ぼされました。」

*両者：救いに選ばれた人々と憐れみの届かない異邦人

キリストは、神に背き続けた〈選びの民〉だけではなく、救いに洩れていた〈わたしたち〉のためにも、十字架にかけられ、背く者が降されるべき神の怒りと裁きを受けられた。

「神は御子の肉の体において、その死によってあなたがたと和解し、」(コロサイ1章22節)

☆赦された〈あなた〉は、ただ憐れみを求めればいだけ。

「従って、あなたがたはもはや、外国人でも寄留者でもなく、聖なる民に属する者、神の家族であり、」(19節)

※キリストのゆえに、新たな選びの民となったから、救ってくださった神を畏れて、御心を求める者として生きよ。